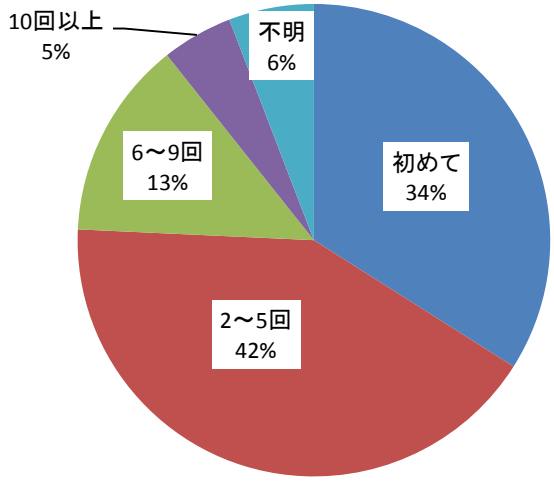
第13回　長野県診療情報管理懇話会　　アンケート集計報告

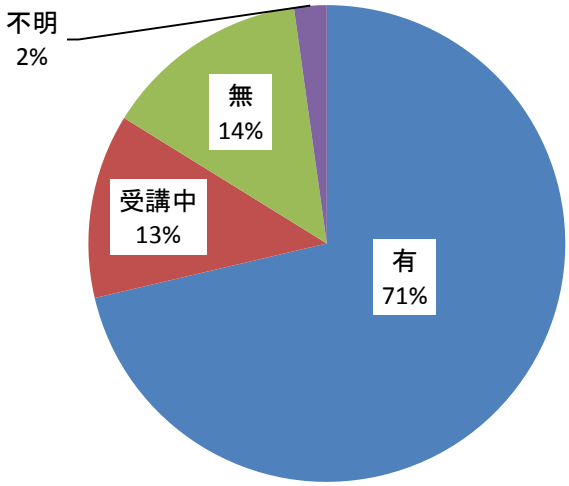
回答者　103名

1. 参加回数について



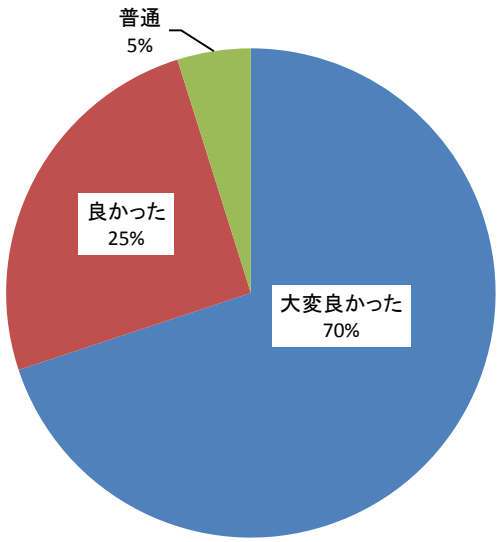
参加回数	人数
初めて	35
2～5回	43
6～9回	14
10回以上	5
不明	6
合計	103

2. 診療情報管理士の有無について（参加申込書より）



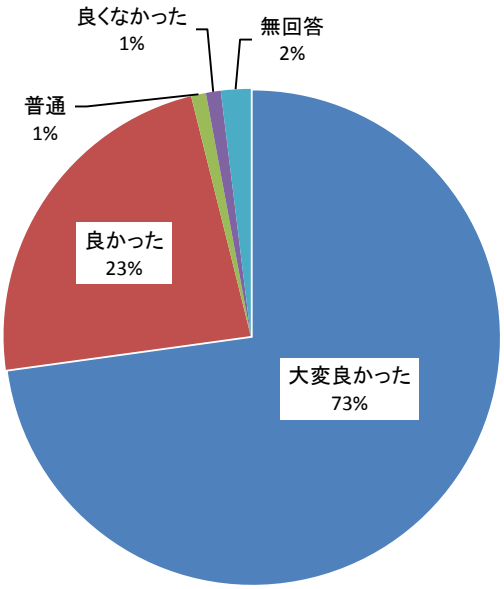
診療情報管理士	人数
有	97
受講中	17
無	19
不明	3
合計	136

3. 特別講演①について　（講師：河村保孝先生）



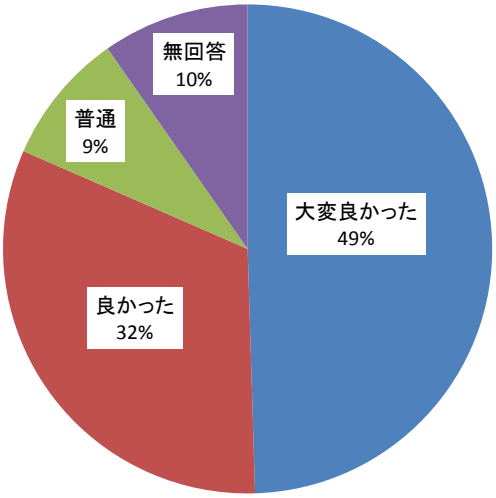
感想	人数
大変良かった	72
良かった	26
普通	5
合計	103

4. 特別講演②について　（講師：川合省三先生）



感想	人数
大変良かった	75
良かった	24
普通	1
良くなかった	1
無回答	2
合計	103

5. よろず相談について



感想	人数
大変良かった	51
良かった	33
普通	9
無回答	10
合計	103

（特別講演①　自由記載）

大変良かった

・診療録がすべての根拠となることを、改めて考えさせられました。
・久々に感動した演説でした（演説はおかしいですね）。最近、仕事辞めたい、看護師に戻りたいななんて、うじうじ思っていたのですが、先をみてこのまま　しっかりやっていこうと思える様な話でした。
・診療情報管理士の活きる道、当院における役割を考えるきっかけになりました。当院ではまだ機能評価や加算のためだけにいる感じで、本来の業務に対して病院から求められるものが少ない。不満もあるが、逆にこちらから色々と情報提供して積極的に取り組んでいけば、院内での位置づけも変わるのではないかと思いました。
・診療情報管理士の現況や業務、活用について分かりやすく理解することができました。変化に対応できる力をつけたいと思いました。
・”活きる道”を考えてゆける管理士でありたいと思います。
・医師事務の点数が上がり、管理士より院内で注目があり、自分の立ち位置を見失う所でした。元気をいただきました。
・これからどのように業務に取り組んでいけばよいのか参考になった。
・前回も拝聴させていただきました。とても分かりやすく、現在の業務に関することが多く参考になり、活きる道しるべになったように思います。

・現在の勤め先での診療情報管理士の立場はすごく小さなものですが、講演を聞いて、
少しでも立場を確立できるように自ら動かなくてはと、良い刺激を受けました。
ありがとうございます。
・これからの診療情報管理士の在り方、活かし方がとても勉強になりました。
・管理士の状況と、これからの課題が分かりやすくまとめてあり良かった。
・「活きる」！その通りだと思いました。
・ＤＰＣ等に関与する機会が増えており、情報そのものに目が向きがちだが、記録の重要さを再認識できた。また、データを集計する機会が増えており、そのポイントを単なるアウトカム（結果）だけでなくプロセスを意識した資料作りを意識したいと思ういいきっかけになった。
・小さい病院に勤務しているため、いろいろな業務をしており診療情報管理士としての存在意識を見出せずにいたのですが、お話を聞いてがんばろうと思いました。
・診療情報管理士としての現状・役割など参考になった。
・わかりやすく興味深いお話で大変勉強になりました。
・自分の病院でもコーディネーターとしての役割をだんだん任される様になって来ている。
本当に勇気づけられた。
・地道にやることの大切さを教えていただきました。
生きる道　→　活きる道になる様頑張らないと、と思います。
・管理士の生きる道との講演でしたが、やはり基本は記録との事なので再認識をしました。
・正確なデータを出すために、どこに力を入れるのか。ここは掘り下げるなどを話し合うべきだと思った。
・日常業務に追われていると忘れてしまいがちな理念のようなものを思い出させて頂きました。またモチベーション上げて週明けから頑張れます。
・業務を行っていて常に診療情報管理士の業務とは何か？自分は何をすべきか考えさせられることが多いのですが、毎日業務に追われており方向性を見出せずにいます。
・「活きる道」ですね。
・日々の業務に追われ、つい忘れがちな一番大事な所を再度考えさせられました。

良かった
・自分の進むべき（活きる）道？　大変分かりやすかったです。
河村先生の声が好きです！
・厳しい環境のなかで、信念をもってがんばっていると思う。「活」をもらいました。
・医師事務作業補助や機能評価等とからめて、管理士業務をお話されていたので、また違った側面での見識が得られました。
・今の業務に関する振り返りや、これから取り組むべき課題がわかった。
・改めて診療情報管理士の仕事の重要性や、これからやって行かなければいけない事を認識しました。
・診療情報管理士のこれまでの歩みを振り返り、これからの目指す方向性について考えることができた。
・生きる道ではなく、”活きる道”同感しました。

（特別講演②　自由記載）

大変良かった
・各症例について、もっと時間をかけてくわしく聞きたかったです。
・具体的な症例をたくさん提示して頂いて、とても分かりやすかったです。
死因をテーマにしているのに笑いも交えての話、楽しく聴くことができました。
・時間が十分でなくもったいなかった。このようにすばらしい医師の話はっめったに聞けないので本当に残念。
・知識の見直しができた。面白かったです。
・たくさんの症例をもとに考えながら聞くことができ、とても分かりやすかったです。
途中、何度も笑えるポイントがあり楽しく学ぶことができました。
・症例など沢山準備されていたようだが、時間がなく残念でした。
次の機会に期待します。
・老衰の件、医師に伝えます。管理士からアクションをおこしてみます。
ありがとうございました。
・時間が短かった。死因についてもう一度しっかり聞きたい。
スライドをホームページで配信して下さい。
・今まであまり聞く機会のなかった内容であり、とても勉強になった。
・今まで気にはなっていたけれど、今回考え直すいい機会になりました。

・死亡診断書を切り口にして疾患の概念を見直せた。
・先生のお話とてもおもしろかったです。
でもやはり原死因選択ルールはむずかしいです。
・「死亡診断書は、あの世のパスポート」という言葉が印象に残った。
・死亡診断書の大切さがとても良くわかった。コーディングルールも分かりやすく解説していただけて良かった。
・原死因選択ルールは勉強中から、むずかしく感じていましたが、今日の講演で少しですが理解できてきたように思います。
あとは自分自身がどこまでたずさわれるのか・・・と思います。
・原死因の決め方が今まであいまいでしたので、勉強になりました。
・まだ原死因に関わる業務はしていませんが、これからのため勉強になった。
・死亡診断書を意識したことがなかったので、自分の病院のレベルの低さを痛感した。
今後生かしていきたい。
・死因選択ルールについて大変わかりやすく話されスッキリしました。
でも現実は、医師に聞いて欲しい内容。
・学会等で聴く機会があったが、それきりになっていたので改めて整理する機会となった。
原死因についてはなかなか触れる機会がなかったが、楽しく学ぶことができたので
第1巻と通教テキストを読み直してみたいと思った。
・死亡診断書の書き方、病名の見方がとてもよくわかった。
・死亡診断書について勉強中という中で理解できる部分があって良かった。
・原死因の選択ルールはとても奥深くて勉強することも多いと感じました。
・改めて、自分のルーチン業務を見直す事ができた。
医師との協力共同の関係を築きたいと思った。
・具体的な実例（新聞記事）で説明していただき、大変わかりやすかったです。
「原死因選択ルール」・・興味あったのですが、大変むずかしいです。
でも笑いもある川合先生の講演を聞いて、頑張って勉強し仕事に役立てたいです。
・ルールがとても難しく、本をもう一度読もうと思います。
・診療情報管理士も医師も共通の研修を得て、正確な死亡診断書を作れるよう検討する必要があると感じた。
・どれだけＩＣＤ10の1巻を読んでも解決しない疑問が沢山ありましたが、1巻に載っているもの以外の例をあげてご説明頂いたおかげで、よくわかりました。
・死亡診断書の精度を上げることの大切さがよくわかりました。

良かった
・自院では制度的に死亡診断書の精査はしていないが、偶然目にした診断書で　「癌」の記載があるにも関わらず、細かい部位や性状が未記載のものがあった。
（カルテには記載あり）。医師への働きかけは困難だががんばっていきたい。
・正確な死因統計が取り易くなったように思います。
・症例が多く出て判りやすかった。
・とても勉強になりました。とてもとても楽しく話を聞けました。
・原死因の考え方について分かりやすく説明して頂いてよかった。
科研の結果を出版される予定があるのでしょうか？
・スライドが早すぎて読めなかった。
・スライドの資料が欲しかったです。（5名）

良くなかった
・普段、疑問に感じている事がわかりました。

（よろず相談　自由記載）

大変良かった

・様式1の入力をしているのですが、参考になることが多くあり勉強になりました。
・他施設のお話なども聞けて参考になりました。
・救急医療管理加算、参考になりました。
・勉強になった。
・救急医療管理加算　→　他病院の様子が聞け大変良かった。
・死亡診断書のルールや救急医療管理加算の判断など、すぐに現場に取り入れる必要があるものが聞けて良かった。
・ＱＩの話がもっと聞きたかったです。

・とても身近な問題だったので、他院の取り組みを知れてよかったです。
・もう少し時間が欲しかったです。

良かった
・ＷＨＯのルールを尊守することが大事だと思います（統計の意味がなくなってしまう）。
・救急医療加算の他院の対応が聞けて良かった。
・他院の事が、少し聞けて良かったです。
・西高東低と言われる中、質疑が比較的活発だった。
・死亡診断書の質問に対して、よりくわしく教えていただいてよかったです。
・他病院の意見が聞けて良かった。
・他病院の実例を聞くことができてよかった。
・時間が短かった。

普通
・事前質問の内容が死亡診断書の方向にかなり寄っていると思いましたが、質問の選出は講師の専門に合わせているのでしょうか？
⇒参加申込の事前質問は全て載せましたので、質問の選出はしておりません（事務局）
・若干抽象的なご回答が見られ、質問者が理解出来たかどうか？
・時間通りに終わらせることも大切。移動に時間がかかる場所から来ている病院もあります。

（全体を通して　自由記載）

・非常に有意義な１日でした。ありがとうございました。
・毎年すばらしい勉強会をありがとうございます。
・決められた時間で厳しいところもあったが、内容は大変良かった。
・当番病院、幹事のみなさん、ありがとうございました。
・とても勉強になりました。
・講演時間中に小休止を設けてはいかがでしょうか。
・有難うございました。次回を楽しみにしております。
・参加者の多さと、同じ医療機関から複数参加しており、自院に情報を持ち帰って共有できるという点でもいいと思った。
・縁あって県外から参加させてもらいましたが、参考にさせてもらい、次回以降も機会があれば参加させてもらえればと思います。ありがとうございました。
・ドクターヘリを見学でき、とてもうれしかったです。
・管理士に期待されている事は理解できるが、まだまだ社会的地位が低いと思う。
・大変勉強になりました。明日からの活力となります。
日々の業務で手いっぱいなのですが、今日の研究会に参加して、診療情報管理士として何が出来るか再度考える機会となりました。ありがとうございました。
・管理士認定資格後のスキルアップが大切だと思いました。
・事務局、役員の方々のおかげで今度も大変勉強になりました。
・初めての参加でしたが、とても関心を持ちました。
河村先生の話をまた聞きたいです。
・興味深い課題で、楽しく聞くことが出来ました。
・とても勉強になりました。ありがとうございました。（2名）
・参加させて頂くたびに勉強になります。ありがとうございます。
・ＱＩも死亡診断書に管理士が介入することなど、いろいろやっていきたいことはあるけれど所属上長に仕事を増やすなと言われてしまいます。
・参加でき、とても良かった。今後の業務に活かしていきたいと思います。
・良かったです。

ご協力ありがとうございました